

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床医学総論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時限	前期	教室名	401、講堂
担 当 教 員	齊藤 洋司 加藤 智久	実務経験と その関連資格	齋藤:島根大学医学部麻酔科学 教授 加藤:岐阜県白川病院に臨床工学技士として勤務経験あり			
《授業科目における学習内容》						
臨床医学総論Ⅰに続いて、更に外科学の高度な麻酔科学、集中治療医学などの概要と役割、治療について学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート評価4割、定期試験6割にて評価						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
臨床工学技士標準テキスト第3版増補						
《授業外における学習方法》						
講義まとめ						
《履修に当たっての留意点》						
レポート点が加味されるので提出期限を厳守						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	心肺蘇生法と人工呼吸が習得できる	配布プリント	授業まとめ	
		各コマにおける授業予定	救急救命講習①			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	シナリオに応じた対応が可能となる	配布プリント	授業まとめ	
		各コマにおける授業予定	救急救命講習②			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	搬送のやり方を習得できる	配布プリント	授業まとめ	
		各コマにおける授業予定	救急救命講習③			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	回復体位などを身に着けることができる	配布プリント	授業まとめ	
		各コマにおける授業予定	救急救命講習④			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	全身管理と医療機械について理解できる	臨床工学技士標準テキスト第3版増補	授業まとめ	
		各コマにおける授業予定	全身管理と医療機械			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	麻酔科総論・モニタリングについて理解できる	臨床工学技士標準テキスト第3版増補	授業まとめ
		各コマにおける授業予定	麻酔科総論・モニタリング		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	麻酔科各論(全身麻酔と局所麻酔)について理解できる	臨床工学技士標準テキスト第3版増補	授業まとめ
		各コマにおける授業予定	麻酔科各論(全身麻酔と局所麻酔)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	呼吸不全と呼吸療法について理解できる	臨床工学技士標準テキスト第3版増補	授業まとめ
		各コマにおける授業予定	呼吸不全と呼吸療法		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	人工呼吸療法について理解できる	臨床工学技士標準テキスト第3版増補	授業まとめ
		各コマにおける授業予定	人工呼吸療法		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	換気モードと高圧酸素療法について理解できる	臨床工学技士標準テキスト第3版増補	授業まとめ
		各コマにおける授業予定	換気モードと高圧酸素療法		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	救急医療対策について理解できる	臨床工学技士標準テキスト第3版増補	授業まとめ
		各コマにおける授業予定	救急医療対策		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	ERと各科相乗り型、トリアージについて理解できる	臨床工学技士標準テキスト第3版増補	授業まとめ
		各コマにおける授業予定	ERと各科相乗り型、トリアージ		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床工学技士における救急医療について理解できる	臨床工学技士標準テキスト第3版増補	事前レポート課題に対する予習 授業まとめ
		各コマにおける授業予定	臨床工学技士における救急医療		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床工学技士における救急医療の役割について理解できる	臨床工学技士標準テキスト第3版増補	授業まとめ
		各コマにおける授業予定	臨床工学技士における救急医療の役割		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験過去問をやりながら臨床医学総論Ⅱを習得できる	臨床工学技士標準テキスト第3版増補	授業まとめ
		各コマにおける授業予定	総まとめ		